

聖火リレーが大町へ！

みんなで未来へつなぐ「希望の火」



アジア最大級のスポーツの祭典
が今秋、愛知で開催！

愛知・名古屋2026大会は、オリンピックを上回る43競技が実施される「第20回アジア競技大会」と、18競技で熱戦が繰り広げられる「第5回アジアパラ競技大会」が続けて開催され、アジア45の国からトップアスリートが集結します。

日本での開催は、アジア競技大会が32年ぶり、アジアパラ競技大会は初の国内開催となる歴史的な大会です。アジア最大級のスポーツの祭典として、国や地域を越えて人々が交流し、スポーツを通じて互いを理解し合い、友情や絆を深める機会となります。また、世界トップレベルの競技を身近で観戦できる絶好の機会として、多くの人の注目を集めています。

開催期間

▽第20回アジア競技大会

(2026/愛知・名古屋)



9月19日(土)から10月4日(日)

(16日間)

▽第5回アジアパラ競技大会

(2026/愛知・名古屋)



10月18日(日)から24日(土)(7日間)
競技は愛知県内外の53競技会場を活用し、地域一帯となって大会を盛り上げます。詳細は「愛知・名古屋2026大会」公式ホームページをご覧ください。

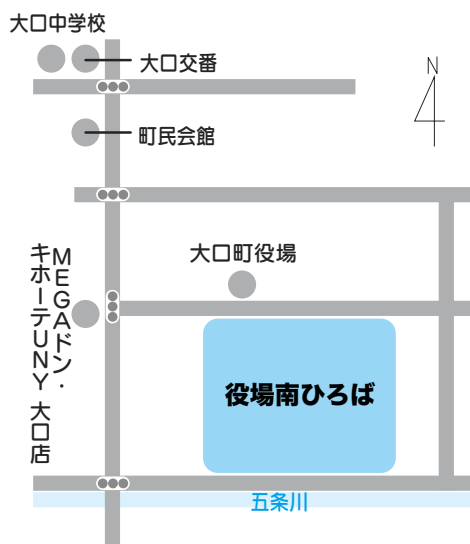
9月5日(土)、アジア競技大会
聖火リレーが大町へ！

この10月に開催されるアジア競技大会に先立ち、8月22日(土)、名古屋城で採火式が開催されます。ファーストランナーは、レスリング女子でオリンピック3連覇を達成した吉田沙保里さんが務め、採火された火は県内各市町村でおこなわれる聖火リレーへと受け継がれます。

大町でも9月5日(土)午前9時から、役場南ひろばで聖火リレーが開催されます。聖火ランナーを務

める長谷川実さんは、「アジア競技大会の聖火ランナーとして走る機会をいただき、大変光栄に思います。私が願うのは「世界平和」です。国や文化、障がいの有無を超えて、人と人が互いを認め合い、笑顔で暮らせる社会になってほしいと思っています。この聖火が希望の光となり、平和への願いを多くの人につないでいけるよう、一步一步心を込めて走ります」と、意気込みを語りました。県内各地で採火された火は一つに集められ、大会の聖火となります。そして、開会式で聖火台へと届けられ、大会期間中選手たちを見守り続けます。ぜひ会場へ足を運び、歴史的な聖火リレーを地域みんなで盛り上げましょう。

聖火リレー会場 役場南ひろば



大町の聖火ランナー (PR ランナー)

- 中野友加里さん(元フィギュアスケート選手)
- 長谷川実さん(大町スポーツ協会会長)
- 田中一輝さん(幼稚園教務・大町スポーツ推進委員)


第20回アジア競技大会
公式チケット販売サイト


第5回アジアパラ競技大会
公式チケット販売サイト

※チケットを申し込むには、大会公式サイトなどで「応援ID」の登録が必須となります。

第20回アジア競技大会および第5回アジアパラ競技大会チケットは、6月30日から一般販売(全席先着順)されています。詳細は公式チケット情報サイトをご覧ください。

愛知・名古屋2026大会(アジア・アジアパラ競技大会) 観戦チケット